

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
小豆島町	三都地区(吉野・蒲野・神浦集落)	令和3年3月31日	令和4年12月26日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	24.2ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	13.0ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	6.1ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.5ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.6ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.1ha
(備考)	

### 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢農業者が多く、集落によっては兼業農家の割合も高く、自作地以外の営農は難しい。</li><li>・畑地かんがい用水やため池がある集落は、そうでない集落(神浦)に比べて耕作に適している。</li><li>・10年程度現状維持できても、その後の後継者の確保が困難である。</li><li>・労働力の確保が難しく、特に繁忙期は不足している。</li><li>・農地の荒廃化により鳥獣被害が多い。</li><li>・土壌や環境により、経営作目が限定される。</li></ul>
--

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

吉野では、中心経営体である農業者のほか、移住就農者や入作者が担い、更に入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。
蒲野では、中心経営体である農業者が担っていく。
神浦では、農泊事業を行う農業者が主に担っていく。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	A	キク、メロン	0.1 ha	キク、メロン	0.1 ha	
認農	B	野菜、オリーブ	0.7 ha	野菜、オリーブ	0.7 ha	
認農	C	イチゴ	0.2 ha	イチゴ	0.2 ha	
認農	D	柑橘、野菜	2.8 ha	柑橘、野菜	2.8 ha	
認農	E	オリーブ	0.3 ha	オリーブ	0.3 ha	
認就	F	イチゴ	0.1 ha	イチゴ	0.1 ha	
認就	G	オリーブ	0.3 ha	オリーブ	0.3 ha	
認就	H	野菜	0.1 ha	野菜、柑橘、水稻、 茶	0.5 ha	
到達	I	オリーブ	0.5 ha	オリーブ	0.5 ha	
到達	J	養豚、水稻	1.4 ha	養豚、水稻	1.1 ha	
			ha		ha	
計	10人		6.5 ha		6.6 ha	